

平成24年度 教師対象学校評価アンケートによる所見

評価基準

A	十分達成している
B	概ね達成している
C	どちらかという達成されていない
D	ほとんど達成されていない

項目	具体的方策	評価(平均)	成果と課題
学校組織	1 各部や学年等は連携が取れており、教育課題解決のためによく機能している。	B	校務運営会議や学年会議を毎週設けており、連携をとれるようにしている。
	2 職務が円滑に遂行できるよう、職員室などの執務環境が、整備されている。	B	校内ネットワークやコンピュータを活用できるよう機器や設備は整備されている。
	3 プライバシー保護の観点から、生徒の個人情報に関する管理体制が確立されている。	B	情報セキュリティ委員会により、内規が定められており、個人情報に関しては利用目的を明確にしている。
公情報	1 学校のホームページを通じて、教育活動に関する情報を公表し、定期的に内容を更新している。	A	ホームページは毎日更新されており、校外からの閲覧にも対応している。
	2 行事や進路情報等、学校の情報を保護者に提供している。	B	保護者会やホームページを通じて情報公開に努めている。
課程	1 教育方針の実現を目指して、生徒の実態を考慮した適切な教育課程を編成している。	B	選択科目を多く設け、多様な希望進路に対応している。
	2 授業アンケート、保護者懇談会等を通じ、生徒の理解、関心の度合いをはかりながら授業改善に努めている。	B	年に1度アンケートを実施している。その結果を分析し今後活かすべきである。
学習指導	1 教科指導は学習指導要領に基づき、教科内で検討・作成された年間計画により適正に行われている。	B	毎年細かくシラバスを見直すことで、よりよい指導計画が作成されることが望ましい。また、3年間通しての授業計画も作成している。
	2 教科指導において、生徒の実態を踏まえ、指導内容の工夫や指導方法の改善を行っている。	B	教科会議を増やして情報交換ができる場を設ける必要がある。
	3 成績不振者、不登校生徒等に対する学習指導について、十分配慮している。	B	成績不振者には担任による指導や保護者会で報告を行う。不登校・問題生徒には家庭訪問等を行っている。今後一層連絡を密にしていきたい。
	4 評価方法について、各教科内において意見交換を行っており、評価は統一されている。	B	各教科内には評価についての一定の内規があり、統一されている。
生徒指導	1 統一された指導方針のもとに、適切な情報交換を行い、一致協力して生徒指導にあたっている。	B	生徒指導部を中心に各学年の指導部との情報交換を常に行っている。
	2 基本的な生活習慣の確立をめざし、集団生活のルールやマナーを指導している。	A	担任による指導の他、各学期に2、3回程度の学年集会において、徹底指導している。
	3 教職員の共通理解のもと、不登校・相談室登校生徒の支援体制が確立している	B	不登校に対する指導方針は一貫している。今後更により支援体制が築かれていくと思われる。
	4 「いじめ」に対する取り組みは、全教員により意思統一されている。	A	生徒指導部を中心に一貫した指導体制ができています。
進路指導	1 進路指導室はいつも整理整頓されており、生徒自らが主体的に将来を考えるための条件が整っている。	A	十分な資料が常に整理されており、利用しやすい状況である。
	2 学年ごとの具体的指導目標の設定と、生徒一人ひとりの進路相談の充実を図っている。	B	進路指導部を中心に頻りにキャリアガイダンスを行っており、その効果も認められている。
	3 生徒が望ましい勤労観、職業観を身につけることができるよう、各学年に応じたキャリアガイダンスを行っている。	A	各学年の状況に応じた様々なガイダンスを設けており、生徒もその意義を理解している。
健康安全教育の推進	1 生徒の体力向上、健康の保持増進に関する指導を学校全体を通じて行っている。	B	養護教諭により、インフルエンザ等の流行状況や処置の仕方等の情報が発信されている。こまめな出席状況の点検なども行っている。
	2 生徒会・運動部を中心に、救急救命講習等を実施している。	B	毎年運動部の生徒を対象に講習会を実施しており、参加生徒数も多い。
	3 非常災害時の対応について、避難訓練など生徒の安全指導及び緊急連絡体制が整備されている。	B	避難経路の確認や避難訓練もなされている。日々の意識向上に努めたい。
人権	1 生命・人権の尊重、規範意識の高揚等に学校全体で取り組んでいる。	C	薬物乱用防止教室や自転車事故防止教室などを行っている。
	2 奉仕の精神を涵養するとともに、ボランティアに関する体験的な活動を促している。	C	地域の清掃活動を行っているが、ボランティアの機会を増やしていくことが課題である。
活動別	1 生徒会活動では、行事への積極的な参加や学校生活の充実改善を促進するよう指導している。	B	文化祭や体育祭などを行っており、学校生活の活性化に一役担っている。
	2 部活動を通して、より好ましい人間関係を確保し、生徒が達成感を得たり、個性を伸ばしたりしている。	A	各クラブ共、充実した毎日を過ごし、人間的にも成長している。
研修	1 教職員は私学連合会等の研修講座、研究大会、学校訪問等で研修している。	C	私学連合会の講習に年数回、数名が参加している。今後、多くの先生が様々な講習を受けるよう検討する。
	2 初任研をはじめ社会体験研修などを活用し、社会の変化に的確に対応できる教員の育成に努めている。	C	
	3 各教科で個別指導、グループ指導、一斉指導などの効果的な指導方法を研究し実践している。	C	英語科では習熟度別授業を設けるなどして生徒の理解度に応じた授業をできるようにしている。
施設設備	1 学校の施設・設備は学習環境の面で十分な状態になっている。	C	図書館・LL教室・コンピュータ教室・家庭科実習室等、最新のシステムを導入している。
	2 学校内での事故防止に配慮し、施設・設備の保守点検を行っている。	B	施設・設備に不備があれば、即日対応している。また、年数回の保守点検も行っている。
	3 学校として、学校図書館の利用及び読書の奨励に努めており、生徒は本によく親しんでいる。	C	生徒が利用しやすいように環境作りを努めている。また、新刊情報などもこまめに発信している。
	4 コンピュータなどの教育機器や教材・教具を十分に活用した授業を行っている。	B	情報の授業では実習を交えて実践的な指導を行っている。
育友会・同窓会	1 総会・役員会・研修会等を通して、育友会活動は円滑に運営されている。	B	総務部を中心に、各クラス代表2、3名の評議員をはじめ、年数回の会議をしている。
	2 学校は、育友会活動のために教育情報の収集や提供に努めている。	B	育友会報等により、全保護者に情報の提供を行っている。
	3 学校は生徒の状況等について、保護者と話す機会を多く持ち、教育活動に反映している。	B	年2回の保護者会をはじめ、生徒に問題があればすぐに対応している。
	4 在校生、卒業生は母校に誇りを持っている。	B	本校の校訓を胸に、責任・希望・誇りを持って日々たゆまぬ努力をしている。